

年史編纂委員会活動報告

創立150周年に向けて神戸女学院150年史編纂事業を担う本委員会の活動については、『学院史料』第35号において2021年度までの状況について報告したが、本稿では2022年度以降の活動について簡略に記す。

まず2022年度は、2回の委員会を開催し、定年退職者のインタビュー実施とそのとりまとめから得られた情報の整理を行った。特に2022年度末には初めて職員の定年退職者のインタビュー協力を得ることができた。さらに、当委員会の活動の周知に努めた結果、部署の棚卸時等に声かけがあり、各部署に埋もれている資料の収集につながる機会となった。

2023年度はすでに臨時を含め2回の委員会を開催、150年史の編纂に向けて具体的な作業を開始した。150年史は仮題を『神戸女学院150年史』とし、創立100年までは既刊の『神戸女学院百年史』を基本に記述、以降50年についてはまず概観を、続いて法人、大学、中高部、他関連機関に分けて記述することとした。執筆は、年史編纂委員会委員を中心に在職中の関係教職員に分担して依頼した。また、各章の分量、執筆要項についても検討、決定した。2023年度末をめどに各章の概要のとりまとめ、調整を行い、2024年度前期末の原稿収集を目指している。

年史編纂作業と並行して、2023年9月には川合真一郎元学長のインタビューを実施、大学役職経験者から貴重な情報を得る機会となった。さらに、本学図書館が所蔵する「松山高吉文庫」の資料整理に協力する等、年史編纂に関連する資料収集・整理作業をも進めている。

石村 真紀(年史編纂委員)